

種類	対象者（年度年齢）	国が推奨する受診間隔	受診方法	期間	受診料金	検査内容	注意事項
肺がん検診	40歳以上	年に1回	集団健診	集団 6月4日～12月16日	100円	胸部レントゲン検査	[*1] 喫煙指数＝喫煙年数×1日の喫煙本数 (例) 20年×40本＝800 ※65歳以上の方は肺がん検診と併せて結核検診も行います。 (1枚のフィルムで両方調べます)
かくだん 喀痰検査	[*1] 喫煙指数600以上の方				600円	痰の検査	
胃バリウム検査	40歳以上 ※胃ペプシノゲン検査が陽性の方を除く	年に1回	集団健診	集団 6月4日～12月16日	800円	バリウムを飲んで行う胃のレントゲン検査	前日の夜9時以降は飲食をせず、当日は朝食・水分・タバコを一切摂らずにお越しください。 【糖尿病で治療中の方】 検査当日の朝、糖尿病の薬は飲まないでください。インシュリンの注射はしないでください。内服薬の服用やインシュリン注射に関しては、事前に主治医へ十分ご相談ください。 【糖尿病以外の薬を飲まれている方】 主治医から指示されている薬(糖尿病の薬以外)は、コップ1杯程度(約200ml)以内の水で服用してください。
大腸がん検診	40歳以上	年に1回	集団健診 または 医療機関健診	集団 6月1日～12月28日 医療機関 6月1日～12月28日	400円	便潜血反応検査(2日法)	生理中や胃バリウム検査後1週間は採便しないでください。 ○集団検診で受ける場合 羽咋すこやかセンターで検診容器を発行します。2日分の便を採り、指定された場所に提出してください。 ○医療機関で受ける場合 希望する医療機関で検診容器を発行します。2日分の便を採り、同じ医療機関に提出してください。容器の発行は12月25日まで、提出は12月28日までです。
子宮がん検診	20歳以上の女性	2年に1回		集団 6月8日～11月6日 医療機関 6月1日～12月28日	800円	子宮入口(頸部)の細胞診	集団検診のほか、指定医療機関で受けられます。生理中は受診できません。 ※子宮全摘した方と性交未経験の方は集団検診は対象外となります。医療機関で検診をお願いします。
乳がん検診	40歳以上の女性	2年に1回		集団 6月8日～11月6日 医療機関 6月1日～12月28日	700円	40歳代 マンモグラフィ(2方向) 50歳以上 マンモグラフィ(1方向)	集団検診のほか、指定医療機関で受けられます。
節目年齢検診	肝炎ウイルス検査	40・50・60・70歳	集団健診	集団 6月4日～12月16日 医療機関 6月1日～8月31日	無料	B型肝炎ウイルス検査 C型肝炎ウイルス検査(血液検査)	過去に検査を受けたことのない方が対象です。
	胃ペプシノゲン検査	40・45・50・55・60・65・70歳	集団健診 または 医療機関健診		200円	血中ペプシノゲン検査(血液検査)	過去に陽性になった方は除きます。
	前立腺がん検診	50・55・60・65・70歳の男性	医療機関健診		500円	前立腺特異抗原検査(血液検査)	
	歯周病検診	20・30・40・50・60・70・76歳	市内指定 歯科医院へ受診		市内指定 歯科医院 6月1日～12月28日	500円	むし歯と歯周病の検診

8～9ページ参照

詳細は10～11ページ参照

胃バリウム検査について

胃バリウム検査による合併症および事故予防のために、下記に該当する方は胃バリウム検査を受けることができません。
 また、便秘症の方はバリウム検査後に便の排出が遅れることで腸閉塞や腸穿孔など重篤な合併症の恐れがあるため、胃バリウム検査はお勧めできません。

- ×バリウム製剤や下剤にアレルギーのある方。
- ×透析中、慢性腎疾患、心疾患で水分制限がある方。
- ×潰瘍性大腸炎、クローン病の治療中の方。
- ×お腹の手術(開腹、腹腔鏡)を1年以内にした方。
- ×腸閉塞、腸捻転になったことがあり、食事指導を受けている方。
- ×検査当日、3日以上便秘が続いている方。
- ×検査前夜、9時以降に飲食した方。
- ×検査当日、インシュリン注射をした、または糖尿病の薬を服用した方。
- ×妊娠中、または妊娠の疑いのある方。
- ×水分が飲み込みにくく、よくむせる方。
- ×運動障害(寝返り困難な麻痺、疼痛など)や重度の障害がある方。
- (授乳中の方は要相談)